

科学者委員会広報分科会（第22期 第5回）議事要旨（案）

1. 日 時 平成24年7月10日（火）15:30～17:10
2. 場 所 日本学術会議 5 - C（2）会議室 5階
3. 出席者 辻村みよ子委員長、北里洋副委員長、小森田秋夫幹事、
那須民江幹事、山川充夫委員、萩原一郎委員、
日本学術会議事務局企画課：清水、高橋、石黒、西田
日本学術協力財団：南、末次

【配布資料】

- | | |
|-------|----------------------------|
| 資料1 | 第5回科学者委員会広報分科会出席者一覧 |
| 資料2 | 第3回及び第4回科学者委員会広報分科会議事要旨 |
| 資料3 | 平成24年6月号以降の掲載記事一覧 |
| 資料4 | 現在寄せられている「学術の動向」特集記事等の企画案等 |
| 資料5－1 | 任期3年を切った会員への寄稿依頼案 |
| 資料5－2 | 第21－22期会員執筆状況（所属部別） |

参考1 日本学術会議関連イベントスケジュール

4. 議 事

（1）日本学術会議の広報活動について

- ・ホームページの改修については、今月中にはアップ予定と報告があった。
- ・22期英文パンフレットについて現状報告を行い、広報分科会で確認したいとの要望が出された。
- ・リーフレットについて、広報分科会委員から作成中のアナウンスをするべきとの意見が出された。

（2）『学術の動向』への編集協力について

<特集等>

（8月号）

- ・特集1：東日本大震災を教訓とした巨大災害軽減と持続的社会実現への道
- ・特集2：「特別企画」ジャパンプライズ

（9月号）

- ・特集1：若手研究者たちと考える、君たちの、そして日本の未来－大学で何を学び、何をかなえたい？－
- ・特集2：科学を文化に－科学技術でわかること、わからないこと

（10月号）

- ・特集1：福島第一原子力発電所事故から1年を迎えて 特別公開シンポジウム 放射能除染の土壌科学－森・田・畑から家庭菜園まで－
- ・特集2：日本そして世界へのメッセージ－3.11 東日本大震災・原発災害後の社会福祉学と社会学から－

(1 1 月号)

- ・特集 1 は、原案どおり。
- ・特集 2 は、地球環境変化研究における国際動向（仮題）

(1 2 月号)

- ・特集 1：先端的異分野融合を核とした構造生命科学の飛躍に向けて
- ・特集 2：未定。

<表紙>

- ・8月号から11月号までの候補を決定した。

<編集後記担当>

- ・平成24年11月号～平成25年3月号までの担当委員を決定した。

<その他>

- ・今年7月以降に行われるシンポジウムについては、次回の分科会で取り扱う特集の対象とすることとした。

(3) その他

- ・第22期までの会員のうち、一度も『学術の動向』に執筆をしたことのない者に絞って寄稿を依頼することとした。
- ・岩波新書の「知の航海」シリーズについて、科学と社会委員会が関わっていることから、『学術の動向』で紹介をしたいと要望があり、岩波新書と相談する方向で進めることとなった。
- ・次回分科会の開催は、10月9日（火）（総会1日目）の昼休みに行う予定とした。